

## 住み良いまちづくりを目指して

～平成17年度地区懇談会～

10月25日(火)から11月24日(木)まで、市内10会場で『平成17年度地区懇談会』が開かれました。

この懇談会は、市が施策や計画などを情報提供するとともに、住環境の改善や地域の活性化、地域が抱える課題などについて、各地区連合町内会から提出されたテーマをもとに、役員の皆さんと市長以下市の幹部職員が懇談を行うもので、毎年この時期に開催されています。

今年は、来年の全戸配布を目指して、現在、作成が進められているハザードマップについて、市から情報提供が行われた後、各地区連合町内会から提出された防災対策や川の管理、公共施設の跡地利用、漁港の整備など合計30件のテーマの解決に向けて、各地区連合町内会と市が意見交換をしました。

参加した市民は、より良いまちづくりに向けて、活発な議論を展開していました。



10月26日(水)、婦人センターで開かれた地区懇談会

## ふるさと登別に思いを寄せて

～第17回東京登別げんきかい  
総会・懇親会・情報交換会～

11月12日(土)、東京・羽田空港第1旅客ターミナルビル内で『第17回東京登別げんきかい総会・懇親会・情報交換会』が開かれ、約120人の会員が出席しました。

同会は、首都圏在住の登別出身者や登別にゆかりのある皆さんにより、平成元年に設立されたもので、今年で17年目を迎えました。

情報交換会では、登別出身で元東京高等裁判所判事の若佐善巳さんの瑞宝重光章受章を記念して、遺言や成年後見制度についての講演が行われました。

また、総会・懇親会では、上野市長が登別の近況を報告したほか、登別で水揚げされた毛ガニやサケ、ホッキ貝などを材料にした料理が振る舞われ、出席者はふるさとの味に舌鼓を打ちながら、登別の思い出話に花を咲かせていました。

最後は、毎年恒例の『鬼踊り』と『大抽選会』で懇親会を締めくくりました。



## 本の魅力って素晴らしい

～第1回図書館まつり～

11月13日(日)、市立図書館で『第1回図書館まつり』(図書館まつり実行委員会主催)が開かれました。

この催しは、図書館の魅力を多くの市民にもっと知ってもらおうと、登別の図書館を考える会や読み聞かせサークル、NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶなどが協力し、初めて開催されたものです。

会場では、池谷陽子さん(絵本作家)の布の原画や『のぼりべつの図書館を考える会』の活動紹介の展示のほか、好きな本の名前を書いてつくる『私の好きな本の木』作り、手づくり紙芝居、手話劇、富樫利一さん(郷土史家)による『知里幸恵の背景を探る』の講演などが行われ、家族連れや子どもたちで一日中にぎわいました。

